

平成 29 年度 佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価報告書に対する意見について

基本目標① 安心して働き続けることができる佐久市における「しごと」の創生

報告書ページ

1	<p>数値目標 市内事業所の従業者数</p> <p>佐久市は働きやすい、住みやすいところであるから、引き続き各種施策に取り組むことで、将来的には経済、医療、文化、農林業など様々な面で順調に良い方向へいくと思う。</p>	5
2	<p>数値目標 市内事業所の従業者数</p> <p>佐久市は非常に多くの福祉施設があり、遠くから働きに来られている方もいることから、「健康長寿のまち」として周知されているのは事実。この特徴を強く打ち出して人口増加を図る施策を推進していただきたい。先人たちが築き上げてきた佐久市の「健康長寿」をブランド化し、競争力を高めるような施策を打ち出していただきたい。</p> <p>その他、市土が広く、北陸新幹線をはじめとする高速交通網も充実していることから、これらの卓越性を生かして施策を力強く進めていただきたい。</p>	5
3	<p>(1)地域産業の競争力強化</p> <p>イ 農林水産業の生産性向上とブランド化の推進</p> <p>「水田鮎の生産振興」について、仕事の厳しさから生産者の確保が難しく、衰退の懸念を抱いていたが、養殖技術研修受講者が3人もいることに驚いた。もう少し前向きに鮎産業について考えていく必要があると思う。</p>	8
4	<p>(1)地域産業の競争力強化</p> <p>イ 農林水産業の生産性向上とブランド化の推進</p> <p>「佐久市のカラマツ材のブランド化」の取組は素晴らしい取組だと思う。しかしながら、素材として強く素晴らしいカラマツがある反面、素材にならないカラマツも多いことから、そのような林の整備の促進もしていただきたい。</p>	8
5	<p>(1)地域産業の競争力強化</p> <p>イ 農林水産業の生産性向上とブランド化の推進</p> <p>林道田口十石峠線をはじめとする林道の整備について、有利な財源を活用しながら進めていただきたい。どこの自治体も厳し</p>	8

	<p>い財政状況の中で、積極的な財源確保が求められていることから、市の強みや特徴を謳い、他の自治体と差別化を図りながら進めていただきたい。</p> <p>また、活用に当たっては、例えば林業振興だけでなく、観光振興など地域の活性化に資する取組にも併せて努めていただきたい。</p>	
6	<p>(2)首都圏等からの人材還流および佐久市における人材育成・雇用対策</p> <p>ア 新規就農・就業の促進</p> <p>首都圏等からの移住希望者のうち、佐久市への移住、就農を希望する方は大変多いと聞いている。そのような方々の移住を促進させるためにも、環境整備など何かしらの支援策を考えていただきたい。</p>	11
7	<p>(2)首都圏等からの人材還流および佐久市における人材育成・雇用対策</p> <p>ウ 多様な人材の雇用促進</p> <p>障がい者雇用について、「佐久広域連合障害者相談支援センター」による取組が行われているが、地域の熱意ある皆さんが協力して下さるといことは非常に大事なことである。これからもしっかりと施策を推進していただきたい。</p>	12

基本目標② 多くの人に選ばれることができる佐久市における「ひと」の創生

8	<p>(1)移住・交流の促進</p> <p>イ 移住定住促進のための体験機会の提供と経済的支援</p> <p>KPI「空き家バンク登録物件の契約成立件数」について、目安値を達成していない一因として売買価格が考えられる。目標値の達成のためにも、特定空家などは除くとして、優良物件でないもののまだ活用できる空き家については、整備に対し支援をお願いしたい。</p>	15
9	<p>(1)移住・交流の促進</p> <p>ウ 地域おこし協力隊の導入</p> <p>活動終了後も佐久市に住んでいただき、継続的に協力してもらえるような支援体制の構築をお願いしたい。</p> <p>また、協力隊員については、佐久市に適した人材確保も大事である。</p>	15

10	(2)企業等の誘致、企業等による地方採用・就労の拡大 ア 企業や政府関係機関の誘致	17
	実際に企業誘致により地方都市に工場を作られた方からの意見として、誘致の段階では、補助金などの優遇措置があつたりしますが、工場を建ててからのフォローがあまりなく、新たな地域での人脈をつくるのに苦労したとの話を聞いた。佐久市においても、佐久産業支援センターなどとも連携し、金銭面だけでなく、情報提供など誘致した後のフォローも検討していただきたい。その際、市としても、創業してからの企業情報がある程度把握しておくべきではないか。行政と企業の距離が少し遠く感じる。	

基本目標③ 安心して結婚し、子どもを生み育てることができる佐久市における「ひと」の創生

11	(2)結婚・恋愛・出産・子育ての切れ目のない支援 ア 恋愛・結婚の支援	23
	結婚について、その気にさせるにはどうしたらよいか。昔は皆結婚したがったし、ひとりであることが恥ずかしかった時代であった。今はひとりであることを恥ずかしいとは思わない時代になっているという社会情勢の中で、そのような背景も考慮しながら施策を進めていく必要がある。	
12	(2)結婚・恋愛・出産・子育ての切れ目のない支援 イ 安心して出産を迎えるための支援	24
	ライフデザインについては、メディアでも取り上げられていることもあるが、若年層の認識が全然追いついていないと感じる。早い段階から適切な情報提供が必要であると思う。	
13	(3)子ども・子育て支援の充実 イ 未就学児の保育・教育環境の充実	27
	女性が働く時代になり、働きやすい環境をつくることが大変重要な課題となっている。子どもを生んで早く勤めたいが、預けられないということで復帰できないという現実があるとよく聞かすが、佐久市では未就学児保育の充実に係る施策を行っていないのか。そのような状況が改善できないと、また子どもを作る気分にもならないと思う。	

	<p>(4)仕事と生活の調和の実現</p> <p>ア 希望するワーク・ライフ・バランスの実現の支援</p> <p>イ 女性の仕事と子育ての両立を支えるための意識の啓発</p>	
14	<p>この施策の掲載位置は基本目標③のうち4番目であるが、こんな後ろの方に放っておいて良いのか。もっと前段に配置させるべきではないのか。今は女性も仕事を持つ時代であることから、当該施策を推し進めなければ、数値目標である合計特殊出生率は上昇しない。</p> <p>戦略に掲載されている事業についても、直接的な施策ではないと思われる。例えば、国においても助成金などの支援体制が整備されつつあるが、市もそれと相まって、具体的に企業が使える制度を周知したり、ワーク・ライフ・バランスに係る取組を上手く実施している事業やアイデアをモデルとして示したりなど積極的に動くべきである。今のままでは取組が弱すぎる。</p>	31 ～ 32

基本目標④ 安心して暮らし続けることができる佐久市における「まち」の創生

15	<p>数値目標 「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合</p> <p>住みやすさの基本は「安全性(災害の少なさ)」であることから、この卓越性を今後一層前面に押し出せば良いと思う。</p>	33
16	<p>(1)持続可能な経済・生活圏の形成</p> <p>イ 地域交通ネットワークの整備</p> <p>KPI「公共交通延べ利用者数」が順調に伸びていることは、非常に良いことだと思うが、もう少し踏み込んだ検証が必要ではないか。公共交通の主な利用者が高齢者だとすると、高齢者の実数自体が高齢化の進行により増加していると思われるため、高齢者の増加率と利用者の増加率を比較するなど、真に利用者数が伸びているのかどうかを見る必要があると思う。そうすれば「もっと伸びてもよい」或いは「不便に思っていて、実は利用できない方が増えているのではないか」など、より深い検証ができるのではないか。</p>	33
17	<p>(1)持続可能な経済・生活圏の形成</p> <p>イ 地域交通ネットワークの整備</p>	33

	公共交通の延べ利用者数を増やすためにも、学生の通学バスの利用に係る負担軽減について検討していただきたい。	
18	<p>(3)住民が地域防災・防犯の担い手となる環境の確保</p> <p>ア ICT等を活用した災害対策の推進</p> <p>佐久の公共無線 LAN(Wi-Fi)に接続したことがあるが、クラウドからダウンロードが中々出来ない、ネットに繋がって検索は出来るがページが開けないなど、利用に際し規制が多く、かなり使いづらいと感じた。現在は家に居ながらパソコン1台で起業する若者が急増していることから、もし公共無線 LAN を活用し、外で交流や仕事も出来るようになれば、佐久市に若い人を呼び込む可能性も広がるのではないか。</p>	38

地方創生関係交付金事業

19	<p>ア 交流と協働で織りなす夢をかなえるまちコンパクトシティ臼田とCCRC事業の構築</p> <p>移住者同士がつながることができる機会を創出することは、とても大切なことだと思う。しかしながら、佐久市への移住お試しツアーについて、実際に移住された側の方々など開催側の人間も含め、ツアーに参加した方の意見として「行政の型にはまったツアーでつまらなかった」「思うように出来なかった」などの意見がとても多かった。当該ツアーは既に移住経験者に相当な協力をいただいていることから、移住経験者や地域住民に任せてもいいのではないか。</p> <p>また、どの事業を実施するに当たっても、地域住民のフォローがなければ成功しない。地域住民も巻き込みながら施策を推進していただきたい。</p> <p>さらに、佐久市は他の自治体と違い、地震などの大規模災害の発生頻度がかなり低い。南海トラフなど今後想定される大規模災害を考慮すると、「佐久市へ移住しよう」と考える方も多と思われることから、市としても受け入れ態勢を十分に整えていく旨をしっかりと謳っていただきたい。</p>	41
----	---	----